



栗ご飯

御殿場市内の八百屋さんやスーパーの店先で、産地の違う3種類の栗の実が目にとまりました。関東と四国の県名のついたものです。小粒の地元産は山に自生するシバグリです。「きゅうっと甘みが凝縮していて栗ご飯にあうよ」と店主。「昔は栗拾いよくしたもんだ」と懐かしんでいた。

日本では、縄文時代から重要な主食でした。可食部が全体のおよそ8割と、2割ほどにすぎない貝類に比べて効率的にエネルギーがとれる。デンプンのほか抗酸化物質を含むビタミンも豊富です。米にとって代わられた後も、ホクホクとした滋味は愛され続け、鎌倉時代の栗林は屋敷などと同等の財産とみなされました。

この夏、自然と共生する社会のありようが評価され世界遺産に登録されたのが、北海道・北東北の縄文遺跡群です。なかでも青森市の三内丸山遺跡は、人が栗林を上手に管理し、実が大型化していったことも分かりました。食料や建材として賢く使い、類まれな「栗文明」を築いたと、著書『栗の文化史』に記されている。

明治以降の大量伐採、害虫被害が重なり野生の栗林は、ほぼなくなりました。今や日本は年間600万トンの食品を破棄しています。「飽食列島」です。一方、農林水産省の近年のアンケートによれば、秋に食べたい栗料理のトップは栗ご飯だそうです。旬をシンプルに楽しむ先祖の味覚はしかとDNAに刻まれている気がして少しほっとしました。

都商会 鎌野



選挙の行方

今年、御殿場市では1月31日に御殿場市長選挙があり、若林洋平氏が4期目の当選を果たした。その後に行われた静岡県知事選挙に静岡県参議院議員であった岩井茂樹氏が議員辞職して立候補したが、現職の川勝平太氏に敗れて落選してしまった。その静岡県参議院議員補欠選挙に出馬するために、若林洋平氏は御殿場市長を半年で辞職した。このことについては賛否あるでしょうが、ここでは私の個人的な意見を書かせていただきます。「いや違う！」とお思いの方がいらっしゃいましたら、どうか聞き流してください。

彼が御殿場市長在籍中に御殿場市が良くなったことはいまでもありません。常に市民と御殿場の未来を考えて全力で政務に当たっていたことは、私が保証します。彼は御殿場青年会議所の後輩で、市長になる前からよく知っています。地元出身ではないですが、御殿場の良さをよく理解して、御殿場の可能性を追求してくれました。今回国政に挑んだのは、一つ上の立場から更に御殿場や静岡県の為に働こうという志があったからです。

49歳の彼にとって、御殿場市長をあと何期も続けることは現実的ではありませんでした。長期政権は良くないことを彼自身も理解していました。今回は千載一遇のチャンスだったのです。御殿場市の後を任せるために、御殿場市長選挙では副市長だった勝又正美氏を自分のことのように応援し、当選させました。今回自分は落選しましたが、参議院議員選挙本選が9ヵ月後にまたあります。彼は既にそれに向けて活動をしています。本選は2人区ですから、かなりの確率で今度は当選するでしょう。皆様ご支援・ご協力をお願いいたします。

今年の御殿場市の様に、5回も選挙がある年は珍しいですよ。記憶に残る年になりそうです。

英樹



配り

第 269 便

勝亦製材駿河鉄骨株

住まい塾御殿場教室

TEL (0550) 87-0048

FAX (0550) 87-1237

〒412-0035 御殿場市中山518番地

湿気帯び白い紙はゆらゆらと

窓に流れる雨の縦線

ねがみともみ



コロナ禍を帰省の度に墓参り

過ぎ来し方を偲ぶ孫たち

林 なをみ



アルファ株・デルタ株・他変異株

敵はさる物用心すべし

勝亦 りつ子





ご報告

この誌面でも度々書かせていただいておりますが、趣味で登山をしつつ風景写真を撮影しています。まあ登山と言っても近所の山への日帰りが主なんです。住んでいる土地柄、富士山を被写体にすることが多く、毎朝富士山を眺め、夕方には雲行きを確認し、夜な夜な、あるいは日の出前に出掛けて富士山を撮ったりもしています。本格的に写真をはじめて数年、御殿場市内で富士山を撮影されている著名なカメラマンさんとも親しくなり、撮影のポイントや技術など様々な事を教えて頂きました。

そんな中で撮れた作品を市政カレンダーに応募しましたが、なんと令和4年度御殿場市政カレンダー2月に採用されることになりました！写真を始めた年に応募して以来数年ぶりの二度目の応募なのですが、御殿場市へ富士山の写真を応募する方は皆さんとてもレベルが高く、まさか自分の作品が選ばれるとは思ってもよらず驚きでした。コツコツと撮影をしていたことが評価されとても嬉しく思います。

これは写真活動の励みになりますよ。ますますハマってしまいますね～。これからも本業を疎かにすることなく写真の道を進んでいけたらと思います。共に活動している仲間、ご協力、応援いただいている皆様に感謝ですね。ありがとうございます。

柳田 敏和



冬が来る前に



冬を耐えて前に進むイメージのある「春」の気持ちよさと、「夏」の暑さを乗り越えて、涼しさの気持ちよさとトーンダウンするイメージの「秋」。季節の変わり目は体調不良になりやすいような気がします。

ただでさえ冷え性の私。これから来る「冬」に、憂鬱さと雪が降っている夜の、あのなんともいえない、静けさ、を味わいたいなあ。と思っています。体調もあり鍼灸治療に初めて行ってきました。整体は時々腰が痛い！などで足を運びますしお灸は“千年灸”を自己流でやったことはあります。ツボにあたっているのだろうか？と考えながら。しかし、鍼はちょっと怖いイメージがあるので、パスしていました。治療をしてもらうと鍼が刺さったという感じは、こっている箇所はたしかに刺されたと分かりますが、それほどではない箇所は刺した感じはありませんでした。時間が経つほど冷えていた足の先は、暖かくなってきたことがわかり、へえ～。と感動。終わる頃には身体全体がポカポカと暖かく、ヨガをやった後の暖かさよりポカポカしていました。施術をする前に問診をするのですが、わたくし、ストレスが溜まると甘いもの、特に、チョコレートをよ～く食べます。カカオに砂糖系の甘味がたいへん沢山入っていることは承知しているのですがね。手がのびます。その甘味のツボなるものがあるようで、押しもらったら痛かった。食べたもので身体はつくられているんですよ。と。確かに。おかずの砂糖を精製されていない黒とか茶色い砂糖にするとかね。日々の生活習慣が、年齢を重ねるとどこかに歪みが出やすくなるのでしょうか。う～ん。チョコの代わりになるものをさがさない。



ねがみ



さつまいも

大きなさつまいもを掘り出して喜ぶ園児のニュースを見て、そろそろ我が家の芋はどんな感じかと先日収穫しました。結果は、20cmほどの芋が2本収穫できました。

苗を知り合いからいただいたのですが、我が家の庭には植える場所はありません。はじめはプランターにと思いましたが、浅い土ではたして芋が大きくなれるのか…。結局、肥料の空袋に土を入れ、水はけの穴をいくつか開けたものに植えました。夏の間、ツルが伸びに伸び、隣のパプリカや朝顔に絡まるので何度か剪定しました。こんなにワサワサとツルが伸びているのだから、多少は芋が出来ているだろうと思っていましたが、思いの外立派な芋が収穫できました。もっと大きな袋に植えたらもう何本かできたかもしれません。

さつまいもは、収穫したてより少し寝かせたほうが甘くなりますが、せっかくなので（貴重な）1本を大学芋にいただきました。



祥